



「初めて見る」から、 始めてみる。

費用収益対応の原則・定率法・貸借対照表・棚卸減耗費
減価償却費・外貨建取引・貸倒引当金戻入・流動負債…

「この言葉、何だか分かりませんか？」
「漢字ばかりでわからない！」
「実はすべて簿記に関する言葉なんです」
「ふーん、初めて見るなあ」
「簿記についてどんな印象をお持ちでしょう？」
「なんとなく役に立つイメージしか…」
「興味はありますか？」
「はい」
「即答…」
「フーン。一度取ろうかと思っただけ、やめたのよね」
「それまたどうして？」
「だって簿記って、公認会計士や税理士を目指す人とか、経理に必要な知識でしょ」
「そんなことはありません」
「どうなの？」
「そもそも簿記は、会社のお金や、もの出入りを記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにする技能です」
「やっぱり関係ないじゃん」
「最後まで聞いてください」
「はい」
「日商簿記が、企業から高い評価を得ているというところはご存知ですか？」
「知らない…どうして？」
「簿記を理解することで、会計知識だけでなく、財務諸表を読む力、基礎的な経営管理能力・分析力が身につくからです」
「ふむふむ」
「さらに、コスト意識のある仕事もできるようになる」
「なるほど、簿記はビジネスの基本なんだ」
「その通り。就職・転職・キャリアアップの際に確かな証明にもなります」
「話を聞いたやうな気がするんですけど…」
「話を聞いたやうな感じがしてきた！受けたい！今日受けたい！」
「落ち着いてください」
「はっ、そうです。よく考えたら私の家、最寄りの商工会議所まで遠いし、好きな時に受験したいし、やさしいレベルから力を試したいし…」
「でしたら、簿記初級や、原価計算初級はいかがでしょう？」
「初級なんかあるの？」
「はい。簿記や原価計算の基本原理および、日常業務における実践的な知識の習得を目的としています」
「へーでも、それがなんでおすすめなの？」
「初級は、インターネットを介して行うネット試験です。全国各地にあるネット試験会場ですぐ実施しているうえ、試験終了後その場で合否結果が分かるので、短期間に連続して受験することも可能です」
「あ、待って。話に夢中で今までの話、メモを忘れてた。どうしよう！」
「ご安心を。商工会議所の検定試験ホームページ（<https://www.kentei.ne.jp>）があります」
「エイチャイ…ティ…そんな早口だと覚えられないよ」
「失礼しました。詳しくは『日商検定』で検索してください」
「オッケー、早速今日から勉強を始めてみるね！」
「応援しています！」



資格取得に挑戦し、自らの未来を切り拓こう
商工会議所の検定が実力を証明します

原価計算 初級

ネット試験だから
初めの一步は
いつでも踏み出せる



原価計算初級(2018年4月スタート)3つの特色
①製造業のみならず幅広い業種をモデルとして原価計算の学習ができる
②簿記の学習にも役立つ原価計算の基本を習得できる
③ネット試験方式なので会社や学校でも受験できる(事前に試験会場としての認定手続きが必要です)

7,700万人[※]の受験実績を誇る産業界の信頼ブランド

商工会議所検定

企業が求める資格、第1位[※]
世界で通用するビジネススキル

日商簿記

2018年度試験日：〔簿記1級・2級・3級〕6月10日(日)、11月18日(日)

〔簿記2級・3級〕2019年2月24日(日)

〔簿記初級・原価計算初級〕随時(インターネットを介した試験で、試験日時は会場が決定します)

※リクルートエージェントのホームページ「企業が求める資格ランキングTOP10」から引用

詳細は

日商簿記

検索

<https://www.kentei.ne.jp>

検定情報ダイヤル
(ハローダイヤル)

☎03-5777-8600
受付時間 8:00~22:00(年中無休)



商工会議所が実施する検定試験は、全国統一の基準の下で、年間約75万人(2017年度実績)の方々が挑む大規模なもの。年齢や業種を問わず幅広い受験者層の方々が、実社会で活躍するため、また、就職力を高めるためにチャレンジしています。 ※1944年からの累計受験者数